

# さとうやま



豪風さん取材中の  
テレビ局も来ました。

7月になり今年も名古屋場所が始まりました。

愛知育児院には毎年、場所前に尾車部屋の豪風関が慰問に来てくれます。特養の佐久間介護職員の紹介で豪風関が愛知育児院を訪れてから今年で5回目。去年と同じように各施設を周って頂き、豪風関に質問をしたり、体や手の大きさを比べたりとそれぞれのご利用者といれ合う時間を作ってもらいました。

ご利用者の皆様にもインパクトのある恒例行事の様で、記念撮影の写真をみると「あのお相撲さんは、また来てくれるかしら」と言われています。

今場所も南山の郷一同、豪風関の活躍を期待、応援しています！





# 皆様の声を受けて

今回はユーザーの方から寄せられた意見で、利用者自身への対応について大事な意見を頂いたので取り上げたいと思います。

「様々な人に対して一緒ではなく、子ども扱いはしないでほしい」といったご意見がありました。利用される方は皆様さまざまです。職員も当然そのように認識していますが、施設に訪れた際に気になる場面があったようです。その例として、荷物の預かりがありました。利用者の荷物をご本人の手の届くところではなく、職員が保管・管理していたのです。もちろん職員による管理が必要な場合もありますが、このご意見を踏まえて、早速安易な荷物の預かりはないか、利用者の自立を奪っていないかなどの見直しを行いました。その結果、本人管理に戻したり、荷物の中でも一部をご本人が管理するなどの工夫で、安心されたり、自立を促せるような取り組みも行うことができました。

荷物の事は一つの例です。ご意見がとても良いきっかけを作っていただきました。他にもご利用される方の自立心を奪っていないか、尊重した関わりができていないかなど考えて対応していきます。

## 先月の行事



名古屋市内の高齢者施設対抗で行われる輪投げ大会に参加してきました。

選抜されたメンバーで会場まで車で出掛け参加選手全員で体操をしたり、昼食にお弁当を食べたり、名古屋市のゆるキャラを見たり勝負の結果はともかく楽しい一日となりました。